

# 1 除排雪支援の取り組み



「ボランティアの輪」が広がっていることを実感しています

青空東北会 会長  
千歳青年会議所 理事長  
井浜 利光 さん

市民の皆さんと自衛隊員の親睦を図ることを目的に結成している「青空東北会」では、平成20年から毎年、一人暮らしの高齢者のお宅の除排雪を行う「スノーバスターズ」活動を行っています。

活動を始めた当初は、参加者が300人ほどでしたが、今年は、自衛官や企業の方、中学生など800人以上の皆さんに集まっていただき、参加者からは「地域の役に立って嬉しい」といった声が寄せられています。

また、「自分では除雪できない場所だったので、助かりました」などのお礼の言葉をかけてもらった参加者の姿もありました。

ボランティアは、こちらから呼びかけて人が集まるものと考えていましたが、ここ数年は自ら参加したいと申し出てくれる団体や企業があります。この活動を通じて「ボランティアの輪」が広がり、まちの活力につながっていると実感しています。

青年会議所は、全道につながりを持っているので、この活動を千歳発信のボランティアとして、道内の市町村にも広めることができれば嬉しいです。

## スノーバスターズ

### 【青空東北会】

「スノーバスターズ」は、高齢の単身世帯など、除雪が大変な方の住宅を対象にした除雪ボランティア活動です。16年ほど前から千歳青年会議所が不定期に実施してきたこの活動は、青年会議所と自衛官で構成する「青空東北会」が毎年開催するようになって、8年目を迎えました。



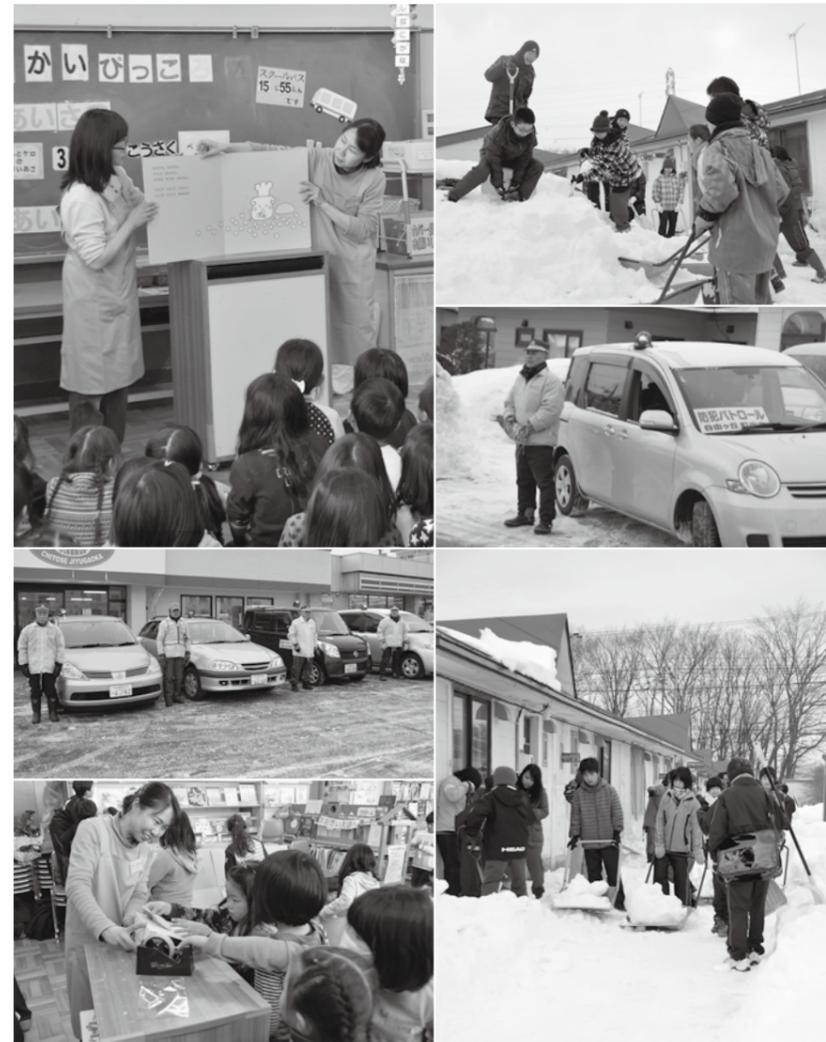
「スノーバスターズ」の様子。通路に出した雪を除雪車で、近くの空き地に運びます。除雪車は、参加企業が無償で提供しています。

## 特集

暮らしの中にある

# 「市民協働」

みんなで進める千歳のまちづくり



## 2

### 防犯の取り組み

## 「地域安全活動推進委員連絡協議会」

町内会では、防犯灯やごみステーションの管理など、住み良い地域づくりのために、さまざまな活動を行っています。

各町内会で、地域の安全を守る活動をしている方が推進委員となり、多発する子どもへの声かけ案を抑制するため、町内の生活道路や公園の周辺、人目に付きにくい場所などで「青色回転灯防犯パトロール車」によるパトロールを実施しています。



自由ヶ丘町内会の地域安全活動推進委員が行うパトロール・見守り活動の様子。緑色の上着を着用した推進委員が、子どもたちの登下校時に4台の「青色回転灯防犯パトロール車」で、町内を巡回します。

「市民協働によるまちづくり」とは、市民の皆さんや市民活動団体など千歳に関わる「みんな」が協力して住み良いまちにすることです。

市が市民の皆さんと作った「みんなで進める千歳のまちづくり条例」を制定してから8年。この間、除雪の市民説明会やダイナックスアリーナ（スポーツセンター）、道の駅のリニューアルに伴う意見公募（パブリックコメント）などの「市民参加手続」の他、まちめぐりガイドや駒里保育所での冬期間保育事業などの協働事業を実施して、「市民協働によるまちづくり」を進めてきました。

市民協働と聞くと、「市役所と関わる取り組み」と思いがちですが、そうではありません。

私たちの暮らしの中には、ボランティア活動や町内会活動・サークル活動が自主的に行われており、このような身近な地域で行われている活動が皆さんの暮らしを支えています。

今月の特集では、地域で行われている活動を紹介します。皆さんも市民協働によるまちづくりについて考えてみませんか。

## 市民協働トピック

### 01 「みんなで、ひと・まちづくり基金」は、市民活動団体が行うまちづくり活動に活用されています！

「みんなで、ひと・まちづくり基金」は、協働事業やひと・まちづくり助成事業に活用されています。基金は、皆さんの寄付で成り立っています。

平成 25 年度の基金活用事例

事業の種類	事業の説明	基金を活用した事業と活用金額
市民提案型協働事業	市民活動団体が持つ知識や技術を生かすため、団体が市に事業を提案して行う事業（2年間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駒里保育所での冬期間保育事業：542,000円</li> <li>・ご当地グルメ開発・推進事業（ちとせ丼グランプリ）：977,000円</li> <li>・青少年のための科学の祭典千歳大会：470,000円</li> <li>・てんだいさんとよしえもののわくわくランド：538,000円</li> <li>・市内石碑・石像の追加調査と碑文集刊行事業：670,000円</li> </ul>
市提案型協働事業	事業を実施するために、市が団体を募集して行う事業（2年間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災支援事業：798,000円</li> <li>・都市農村交流促進事業：474,000円</li> <li>・市内空地の雑草繁茂状態解消事業：171,000円</li> </ul>
市民協働プロモーション事業	市提案型協働事業の終了後も団体と協働して事業を継続する必要があると市が判断した事業（3年間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちめぐりガイド：120,000円</li> <li>・ジュニア景観士講座「子どもまちなみ探検隊」：357,000円</li> </ul>
市民協働サポート事業	協働事業の終了後も事業継続により、人材育成が見込めると市が判断した事業（3年間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スナッグゴルフ普及振興事業：30,000円</li> <li>・ちとせ・まち魅力検定：296,000円</li> <li>・こども環境教室事業：30,000円</li> </ul>
ひと・まちづくり助成事業	「ひと・まちづくり」につながる市民活動を開始するときや、既存の活動を拡大するときの一部経費を助成する事業（1年間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千歳市民討議会：320,000円</li> <li>・子育てママを応援する託児付手作りパン教室：12,000円</li> </ul>

### 02 「マンガ版市民協働ガイド」のイメージキャラクターが決定！

市提案型協働事業「もっと市民協D.O.事業」では、主に中高生などが、市民協働とは何かを理解してまちづくりに関わるきっかけになるよう、平成27年度に「マンガ版市民協働ガイド」を作成します。

その主人公を決めるため、市内全中学校の1年生にキャラクターを選んでもらいました。

決まったキャラクターは、右の男の子です。名前はまだ決まっていません。彼が活躍する「マンガ版市民協働ガイド」、乞うご期待！



主人公は、ちょい悪系男子。彼が、今後どのように活躍していくのが注目です！

特集記事の問い合わせ先

市民協働推進課  
市民協働推進係

☎ (24) 0452

## 3 子育て支援の取り組み

### 学校図書ボランティア

### 【グリーンマザーズ】

「学校図書ボランティア」は、小学校のPTAを中心に、学校図書館で本の修理や整理のほか、子どもたちへの本の読み聞かせを通じて読書の楽しさを伝えています。緑小で活動する学校図書ボランティア「グリーンマザーズ」の皆さんは、学校が地域に開放する図書室で、本の読み聞かせ会（おはなし会「びっころ」）や本の貸し出しなど、小学生をはじめ、地域の子どもたちが本に親しみ、読書が好きになるような活動を行っています。



お話し会「びっころ」の様子。



お話し会「びっころ」では、ペットボトルやトレイなどを再利用しておもちゃを作る工作の時間も設けています。写真は、工作の準備の様子。

たくさんの方が気軽に足を運べる場所を作っていきたい



グリーンマザーズ 代表  
松坂 ゆかり さん

私たちは、緑小で本の読み聞かせや本の貸し出し、整理・修理などを行っています。

緑小のPTAを中心に、読み聞かせに興味がある地域の方もこの活動に参加してくれています。

読み聞かせは、1～6年生までの各教室を順番に回ります。読み聞かせを行っているとき、子どもたちは、本のセリフと一緒に言ってくれたり、昔話を読み聞かせているときは、じっくりと聞き入ってくれます。読み聞かせを通じて、子どもたちのさまざまな反応を見ることが出来ます。

月に一度、緑小の図書室で開催する「びっころ」は、就学前のお子さんとその保護者にも足を運んでもらい、読み聞かせを行っています。

参加した方からは、「入学前の下見になりました」、「子どもの年齢に近い保護者とお話しができてよかったです」などの声をいただいています。

子どもたちには、本をめくる楽しさや活字に親しむ楽しさを伝えることができればと思っています。

また、保護者には、子どもを遊ばせたり親同士で気軽にお話しすることができる場所として、「びっころ」を選んでもらえたら嬉しいですね。

たくさんの方が、気軽に足を運べる居心地の良い場所をこれからも作っていきたいです。

### 「暮らしの中にある市民協働」を見つけてみませんか？

今回ご紹介したのは、市民の皆さんによるまちづくりのための活動の一例です。除排雪や防犯、子育て支援と活動の形はさまざまですが、いずれも地域のニーズ（需要）に応える活動として皆さんの暮らしを支えています。

千歳に関わる「みんな」がまちづくり活動に参加することで、人と人とのつながりが生まれ、新たな活動が行われます。この積み重ねが、千歳のまちづくりを「みんな」で進めていくことにつながっていきます。

「隣近所で交流を深める」、「町内会の活動に参加する」、「趣味を生かした活動をする」など、まちづくり活動に参加するきっかけは、皆さんの暮らしの中にたくさんあります。

皆さんも「暮らしの中にある市民協働」を見つけて、市民協働のまちづくりを進めてみませんか？